

伊達スポーツクラブ” 藍” 通信 No.5 (8月5日発行)

7月のHPでは、前半は胆振大会の様子、後半は「藍」の部活支援以外の独自事業の様子をお知らせしてきました。(一部全道大会の様子も！)

今回は、全道大会の様子と、夏休みから秋の大会に向けて、いよいよ本格的にスタートした新チームの様子をHPでお伝えできたらと思います。

【7月5日掲載】胆振大会卓球大会の様子

7/1(土)、伊達中と男女と光陵中の男子が、団体戦に臨みました。伊達中男子は、どの試合も接戦でしたが0-3で1回戦敗退。光陵中男子は、大接戦で最後ジュースにもつれる展開ながらも惜しくも2-3で同じく1回戦敗退。

伊達中女子は、1回戦を勝ち上がり、準決勝で残念ながら敗退。3位となりました。

個人戦では、伊達中の波多野さんが、3位となり、全道大会進出を決めました。



試合前円陣を組む伊達中男子

団体戦準備に入る光陵中男子試合中

佐藤Cのアドバイスを受ける伊達中女子



光陵中男子団体戦の様子

伊達中男子団体戦の様子

伊達中女子団体戦の様子

【7月5日掲載】胆振大会ソフトテニス大会の様子(光陵中)

ソフトテニスの7/1の団体戦には、光陵中の男女チームが団体戦に出場。男女とも1回戦を突破し、男子は準決勝で敗退し3位。女子は決勝まで進出しましたが、決勝で敗退し2位となりました。7/2の個人戦では、光陵中(山田・佐藤)ペアが決勝に進出。残念ながら決勝では負けてしまいましたが2位となり、全道大会出場となりました。





【7月5日掲載】胆振大会野球大会の様子（伊達中）

7/1（土）、登別の川上球場で行われた野球の胆振大会は、4回までの6点を取られる試合展開。まさかのコールドでの敗退かと思われましたが、そこから点を取り返し、一時は2点差まで迫り接戦に。最後は5-8での敗戦となりましたが、試合を諦めず最後まで全力を尽くす姿に、応援団も大きな拍手を送っていました。



序盤苦戦を強いられた伊達中ナイン ピンチでマウンドに集まる選手たち ピンチの中、リリーフでマウンドに

【7月5日掲載】胆振大会バドミントン大会の様子

苫小牧市総合体育館で行われた胆振大会には、市内3校から各選手が出場。女子団体戦に出場した伊達中は、残念ながら初戦で敗退し3位に。個人戦に出場した、徳舜、光陵の女子シングルス、伊達中の男子シングル、ダブルスも残念ながら途中敗退となりましたが、男子シングルスで遠藤君がベスト4、女子ダブルスに出場した熊澤・坂東ペアが決勝まで進出し、残念ながら決勝では負けましたが2位となり、全道大会進出を決めました。



男子個人戦の様子（赤短パン：遠藤くん） 女子ダブルスの様子（黒：伊達中）

【7月5日掲載】胆振大会バスケットボール大会の様子（伊達中）

7/1、7/2 と伊達市総合体育館で行われたバスケの大会には、伊達中男子チームが初日最終試合に出場。前半リードを許しながらも中盤追い上げ、一時は6点差まで迫ったのですが、後半得点が伸びず、47-61で苫小牧光洋に敗退となりました。



試合開始円陣を組む伊達中男子：白

試合中の様子

試合中のリバウンドの奪い合い）：

【7月5日掲載】胆振大会バレーボール大会の様子（伊達中）

7/2（日）、苫小牧市総合体育館で行われた胆振大会には、伊達中女子と室蘭星蘭中との合同チームの伊達中男子チームが出場しました。

女子は、1セット目29-31の大接戦で落とし、2セット目も一進一退の大接戦でしたが、残念ながらセットを奪い返すことが出来ず1回戦惜敗。

優勝が期待された男子でしたが、こちらも決勝で一進一退の大接戦。しかし、セットを奪うことが出来ず、2位となりました。



試合開始前の様子

試合中の様子

試合中話し合う選手たち

【7月14日掲載】全道中体連大会出場選手の紹介

◆陸上部（伊達中）

【個人種目】

- 3年 尾上 碧唯 100m・200m
- 3年 市橋 叶恩 100m・200m
- 2年 浅木弘太郎 100m・110mH
- 3年 鳴海 智咲 100m

【男子リレー 100m×4R】

3年岩倉一樹、3年尾上碧唯、3年市橋叶恩、3年中田明良、2年浅木弘太郎、2年吉田風太

【女子リレー 100m×4R】

3年鳴海智咲、3年佐々木春帆、3年長沼夏音、3年滝頭心愛、2年木村光莉、1年鳴海理那

◆剣道部

【男子団体】

伊達中：3年 藤田一世 2年 高橋凜久、2年 竹内 涼、1年 奥村憲人、1年 木村亮太
光陵中：3年 馬場陽大

【女子個人】

伊達中：3年 中里 結奈

◆柔道部

【男子個人】

伊達中：3年 鮫名 悠平

【女子個人】

光陵中：3年 越橋 みお

◆バドミントン部

【男子シングルス】

伊達中：2年 遠藤 大史

【女子ダブルス】

伊達中：3年 熊澤 堵愛、3年 坂東 律歩

◆卓球部

【女子個人】

伊達中：2年 波多野結月

◆ソフトテニス部

【女子個人戦ペア】

光陵中：3年 佐藤ゆらな、3年 山田菜々美

◆ソフトボール部：苫青翔中との合同チーム

伊達中（3年生）

高山野乃花、大家未芽、成田明日香、石川小音羽、岩倉沙奈、中村詩菜

【7月20日掲載】「ゆる部活動」について

「ゆる部活」って？

生活習慣の変化などによる子どもの運動不足が課題とされるなか、スポーツ庁が推奨するのが、勝ち負けにこだわらずに運動に取り組む活動が「ゆる部活」です。

楽しく運動することを目的とした新たな活動「ゆる部活」は、東京を中心とした都市部近郊の中学校、高校で広がりつつあります。

【光陵中学校の様子】

7/13（木）、光陵中の多目的室で16:00頃から始まった「ゆる部活」には、文化科学部の生徒18名が参加（男子6名、女子12名）。総合体育館に隣接する温水プールを運営する道南スコーレの坂井真理子インストラクターの指導の下、エアロダンスの活動が行われました。管内でも初めての取組ということで、多くの方が参観に訪れました



戸惑いながらステップを踏む光陵中生

全身を使いながらエアロダンス

汗だくになって頑張る男子

【伊達中学校の様子】

翌日 7/14 (金) には、伊達中学校でも「ゆる部活」が行われ、吹奏楽部の生徒 21 名（男子 6 名、女子 15 名）が参加。坂井コーチ（伊達温水プール道南スコール）の明るい声かけに導きられながら、ステップを刻んでいました。



常に明るい笑顔の坂井コーチ

最初はぎこちない動きの生徒たち

慣れてくると大きな動きに

【ゆる部活の振り返り】

おそらく道内の中学校では、初の取組の「ゆる部活」。実施後、生徒にアンケート調査を行いました。80%を超える生徒たちが「とても楽しかった」「楽しかった」と回答し、次回も「ゆる部活」に「参加したい」と回答した生徒も 50%を超えていました。

また、今後「ゆる部活」で取り組んでほしい種目として、今回のような「ダンス系」と「YOGA」「ニュースポーツ」が、ほぼ同じような割合でした。生徒の要望も取り入れながら、2 学期の「ゆる部活」について、検討していきたいと思います。

【7月28日掲載】「陸上トレーニング教室」

「toto や WIENER、BIG 等のスポーツくじ」による、北海道スポーツ協会の広域スポーツセンター指導者派遣事業に「伊達スポーツクラブ“藍”」が応募し、伊達市教育委員会と伊達市スポーツ協会共催のもと、市内陸上部の生徒を対象に「陸上トレーニング教室」を開催しました。

部活動の時間が放課後で、午前中が空いていることと、講師の金子講師が、小学校 5 年生の時の、東小校近藤校長の教え子でもあることから、東小 3・4 年生を対象に、東小体育館でも「陸上トレーニング教室」が開催されました。

【光陵中学校グラウンドでの合同練習の様子】

7/18 (火)、15:50 分頃から始まった「陸上トレーニング教室」には、両校の陸上部合わせて 29 名が参加。講師の金子講師、助手の吉田講師は、まだ道内の大会に出場している現役アスリートであることから、生徒たちは真剣に話を傾けていました。

また、講師のお二人も、午前中の小学生対象に楽しみながら行われた陸上教室と違い、中学生には、細かな部分にもこだわった専門的な指導をしてくれました。

ちなみに、現在伊達中男子 100m×4R は、全道ランキング 2 位なのですが、1 位は金子コーチが指導するオホーツク AC の生徒たちで構成されたリレーチームだそうで、全道大会の決勝で、全国大会目指して戦いましょうという声かけもありました。



集合写真



挨拶する金子講師、隣が吉田 C



体幹を鍛えるトレーニング



吉田 C とのトレーニング



金子講師とのトレーニング



チューブを使ったトレーニング

【全道中体連ソフトボール大会の様子】

7/22(土)から倶知安町で開催された全道中体連ソフトボール大会。伊達中ソフト部は、苫小牧青翔中学校と合同チームで参加し、十勝代表の音更町下音更中学校と対戦しました。

けっこう距離のある苫小牧に行つての練習や伊達に来てもらつての練習、伊達開来高校との練習などを行い、難しい練習環境の中、顧問や地域指導者の方にも、熱心に指導していただき、今シーズン最初で最後の公式戦に臨みました。残念ながら 1-8 で初戦敗退となり、1 試合しか戦えなかったのは残念ですが、選手は集中して試合に臨んでいました。



全道中体連ソフトボール大会は倶知安町で開催 試合に臨む苫小牧青翔中と合同チームの伊達中部員

長い歴史のあるソフト部も、現在 3 年生部員のみのため、この大会を持って活動停止となります。現役の選手の皆さん、そしてソフト部 OB の皆さんにとっては、伊達中ソフト部は永遠に思い出に残るものだと思います。長い間応援ありがとうございました。

【徳舜警バドミントン部】

今まで何度か取材を試みたのですが、部活が休みの日だったり、大会の時も試合前や試合後だったりと一度も HP の登場してもらう機会がなかったのですが、今回ようやく HP に掲載することが出来ました。

中体連前までは、部員 3 名でしたが、3 年生が引退し、現在 2 年生 2 名で活動しています。選手は 2 名ですが、顧問の岡本先生その他、宇井さん、高瀬さんの 2 名の外部指導者の方が指導に当たってくれています。この日は、女子部員が欠席のため、残念ながら岡本先生と男子部員 1 名との練習でしたが、今回は試合の様子を、掲載したいと思います。



今日は 1 人でランニング開始

岡本先生と 2 人で練習開始

ラリーを続ける 2 人

編集後記

7/28 掲載の HP 原稿やこの 8 月号の藍通信の作成を手掛けているときに、伊達中陸上部の男子 100m×4R が、全道大会で優勝し、全国大会に出場するというニュースが飛び込んできました。

全道ランキング 2 位の位置付けになっていたことから、優勝の可能性もあると聞いてはいましたが、まさか本当に優勝するとは……。陸上関係者の方々から話を伺うと、何十年に一度あるかないかの快挙だそうです。

伊達中と光陵の陸上部は、土曜日に月 2～3 回のペース SC「藍」での合同連取に取り組んできました。体育館に隣接する伊達市民プールを運営する「道南スコーレ」からは、合同練習の時に指導していただく大場先生を紹介いただき、深川の姉妹提携している施設からは、現役の選手のコーチを 2 名派遣してもらいました。また、SC「藍」では、オホーツク AC の金子コーチを北海道スポーツ協会から派遣してもらうなど、光陵中顧問の宮崎先生も含め、顧問の中島先生と指導者がチームを組んで取り組んだ成果が結果として現れ、たいへん嬉しく思っているところです。

全国大会でも予選を通過し、決勝進出を目指して頑張ってもらいたいと思います。